

問題 1 は解答用紙の表に、問題 2 は裏に解答すること。

1 半球面 $x^2 + y^2 + z^2 = 2$ ($z \geq 0$) に原点から外向きに向かう向きを与えたものを S とする。

- (i) 曲面 S のパラメータ表示を与えよ。
 (ii) ベクトル場 $\vec{F}(x, y, z) = (x, y, az)$ の曲面 S に関する面積分の値が 0 となるように定数 a を定めよ。

(i) 上半球に対して

$$\vec{r}(\theta, \phi) = \sqrt{2}(\sin \theta \cos \phi, \sin \theta \sin \phi, \cos \theta), \quad 0 \leq \theta \leq \pi/2, \quad 0 \leq \phi \leq 2\pi \quad (1)$$

というパラメータ表示を考えると、

$$\vec{r}_\theta = \sqrt{2}(\cos \theta \cos \phi, \cos \theta \sin \phi, -\sin \theta), \quad \vec{r}_\phi = \sqrt{2}(-\sin \theta \sin \phi, \sin \theta \cos \phi, 0),$$

であり、法線ベクトル

$$\vec{r}_\theta \times \vec{r}_\phi = \sqrt{2} \sin \theta \vec{r}$$

は、正しい向きを与えるので ($\sin \theta \geq 0$ に注意)、(1) が求めるパラメータ表示 (の一つ) である。

(ii)

$$\begin{aligned} \iint_S \vec{F} \cdot d\vec{S} &= \int_0^{2\pi} \int_0^{\pi/2} \vec{F} \cdot (\vec{r}_\theta \times \vec{r}_\phi) d\theta d\phi \\ &= \int_0^{2\pi} d\phi \int_0^{\pi/2} 2 \sin \theta (1 + (a-1) \cos^2 \theta) d\theta \\ &= 4\pi \left[-\cos \theta - \frac{a-1}{3} \cos^3 \theta \right]_0^{\pi/2} \\ &= \frac{4\pi}{3} (2+a) \end{aligned}$$

であるから、 $a = -2$ である。

2 原点以外の点で定義されたベクトル場 $\vec{G}(x, y, z) = (x/r^3, y/r^3, z/r^3)$ について考える。ここで、 $r = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$ である。

- (i) ベクトル場 \vec{G} の発散を求めよ。
(ii) 立体 V の表面 (境界) を ∂V で表す。 ∂V が原点を含まないとき、

$$\int_{\partial V} \vec{G} \cdot d\vec{S}$$

の値を求めよ。(ヒント: 原点が V の外部にあるか、内部にあるかで場合分けせよ。)

(i) まず

$$\frac{\partial r}{\partial x} = \frac{x}{r}, \quad \frac{\partial r}{\partial y} = \frac{y}{r}, \quad \frac{\partial r}{\partial z} = \frac{z}{r}$$

に注意して計算すると、

$$\frac{\partial}{\partial x} \left(\frac{x}{r^3} \right) = \frac{1}{r^3} - 3 \frac{x}{r^4} \frac{\partial r}{\partial x} = \frac{1}{r^3} - 3 \frac{x^2}{r^5}$$

となるので、 x を y, z に置き換えた式を加えると

$$\operatorname{div} \vec{G} = \frac{\partial}{\partial x} \left(\frac{x}{r^3} \right) + \frac{\partial}{\partial y} \left(\frac{y}{r^3} \right) + \frac{\partial}{\partial z} \left(\frac{z}{r^3} \right) = \frac{3}{r^3} - 3 \frac{x^2 + y^2 + z^2}{r^5} = 0.$$

(ii) まず、原点が V の外部にあるとすると、発散定理と (i) により

$$\iint_{\partial V} \vec{G} \cdot d\vec{S} = \iiint_V \operatorname{div} \vec{G} \, dx dy dz = 0.$$

原点 O が V の内部にあるときは、十分小さい $a > 0$ に対して、 $V_a = \{\vec{r} \in V; |\vec{r}| \geq a\}$ とおくと、 $O \notin V_a$ であるから、上の結果より

$$0 = \iint_{\partial V_a} \vec{G} \cdot d\vec{S} = \iint_{\partial V} \vec{G} \cdot d\vec{S} - \iint_{S_a} \vec{G} \cdot d\vec{S}$$

となる。ここで、 S_a は原点を中心とする半径 a の球面に外向きに向きを入れたものを表す。

球面座標を使えば、 S_a は、 $\vec{r}(\theta, \phi) = (a \sin \theta \cos \phi, a \sin \theta \sin \phi, a \cos \theta)$ ($0 \leq \theta \leq \pi$, $0 \leq \phi \leq 2\pi$) のようにパラメータ表示されるので、 $\vec{G} \cdot (\vec{r}_\theta \times \vec{r}_\phi) = \sin \theta$ に注意すれば、

$$\iint_{S_a} \vec{G} \cdot d\vec{S} = \int_0^{2\pi} d\phi \int_0^\pi \sin \theta d\theta = 4\pi.$$

以上により、原点が V の内部にあれば、

$$\iint_{\partial V} \vec{G} \cdot d\vec{S} = 4\pi.$$